

# 日本脳炎の予防接種に関する現状

1. ワクチン出荷量	1
2. 予防接種率・被接種者数(平成12～20年度)	2
3-1. 副反応報告の状況(平成21年度)	3
3-2. 副反応報告の状況(平成12～20年度)	4
3-3. 副反応報告頻度(平成12～20年度)	5
3-4. 予防接種後副反応報告基準	6
3-5. 薬事法に基づく副作用報告状況	7
参考) 1)-1 日本脳炎患者数	8
1)-2 日本脳炎患者の年齢別発生状況	9
1)-3 日本脳炎患者数、死亡者数状況	10
1)-4 日本脳炎の年齢別発生状況	11
1)-5 都道府県別日本脳炎患者発生状況	12
2)-1 年齢／年齢群別の日本脳炎中和抗体保有状況	13
2)-2 年齢／年齢群別の日本脳炎予防接種率	14
3) 日本脳炎ウイルスに対するブタの抗体保有状況	15

# 1. ワクチン出荷量

(21年度)

0.5mL換算(単位:本)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン		162,989	263,397	171,569	78,674	125,713	115,696	34,032	35,343
	1月	2月	3月	合計					
	70,841	136,887	239,238	1,434,379					

(22年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	合計
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	371,364	269,660	541,538	386,072	408,828	1,977,462

21'22'合計
3,411,841

## 2. 予防接種率・被接種者数(平成12～20年度)

(予防接種率)

(単位:%)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1期初回(1回)	84.9	90.6	91.9	92.6	83.0	22.1	4.0	13.7	21.7
1期初回(2回)	81.2	86.5	88.6	89.6	81.1	16.7	3.6	13.3	21.3
1期追加	69.8	72.9	73.6	75.3	70.8	15.6	3.3	6.9	11.8
2期	65.0	67.9	69.3	67.6	65.6	15.8	1.4	3.9	7.0

対象者は総務省人口推計による対象年齢人口、被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」より

(被接種者数)

(単位:万人)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1期初回(1回)	101	103.9	103.3	108.1	97	25.4	4.5	15	23.2
1期初回(2回)	96.5	99.3	99.6	104.5	94.8	19.2	4.1	14.5	22.8
1期追加	82.7	83.5	84.7	88.2	82.5	18.2	3.8	7.7	12.3
1期 合計	280.2	286.7	287.6	300.8	274.3	62.8	12.4	37.2	58.3
2期	78.6	78.7	79	81.8	78.9	18.7	1.7	4.6	8.2
合計	358.8	365.4	366.6	382.6	353.2	81.5	14.1	41.8	66.5

被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」より

# 3-1. 副反応報告の状況(平成21年度)

平成22年3月31日現在

件数	アナフィラキシー	全身蕁麻疹	脳炎脳症	痙攣	運動障害	その他神経障害	局所異常腫脹	全身発疹	39℃以上発熱	異常反応	その他	総数(件)	総数(人)
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	1	3	1	1	0	0	0	2	11	4	8	31	28

平成17年1月27日付健康局長通知「予防接種実施要領」に基づく副反応報告のあったもの

定期の予防接種後に発生した一定の基準※を満たす事象については、「定期(一類疾病)の予防接種実施要領」に基づき、診断した医師は直ちに市区町村へ届け出るよう協力を求めており、市区町村からは、都道府県経由、(重篤な場合は直接)で厚生労働省へ報告頂いている。

※3-4「予防接種後副反応報告基準」参照

## 3-2. 副反応報告の状況(平成12~20年度)

	アナフィ ラキ シー	全身 蕁麻疹	脳炎 脳症	痙攣	運動 障害	その他 神経 障害	局所 異常腫 脹	全身 発疹	39℃以 上発熱	異常 反応	その他	総数 (件)	総数 (人)
平成12年度	13	13	2	6	0	1	0	6	15	9	17	82	72
平成13年度	11	14	0	2	0	1	1	2	12	12	8	63	63
平成14年度	13	11	0	6	0	5	1	6	7	8	5	62	55
平成15年度	7	15	8	10	0	4	0	6	19	9	14	92	80
平成16年度	7	11	5	7	0	5	0	5	19	7	11	77	60
平成17年度	1	1	2	1	0	2	0	1	7	1	8	24	19
平成18年度	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	3
平成19年度	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	3	7	7
平成20年度	0	1	3	0	0	1	0	2	0	2	2	11	9

各年度の予防接種後副反応報告書集計報告書

### 3-3. 副反応報告頻度(平成12~20年度)

	副反応報告数(人)	被接種者数(回)	頻度(10万接種あたり)
平成12年度	72	4,253,391	1.7
平成13年度	63	4,307,583	1.5
平成14年度	55	4,311,446	1.3
平成15年度	80	4,476,121	1.8
平成16年度	60	4,132,470	1.5
平成17年度	19	950,060	2.0
平成18年度	3	141,421	2.1
平成19年度	7	418,812	1.7
平成20年度	9	666,631	1.4

副反応報告は、結核感染症課予防接種資料「予防接種後副反応報告集計報告書」  
被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」より編纂

# 3-4. 予防接種後副反応報告基準

臨床症状	接種後症状発生までの時間
① アナフィラキシー	24時間
② 脳炎、脳症	7日
③ その他の中枢神経症状	7日
④ 上記症状に伴う後遺症	*
⑤ 局所の異常腫脹（肘を越える）	7日
⑥ 全身の発疹又は39.0℃以上の発熱	2日
⑦ その他通常の接種ではみられない異常反応	*

注1 表に定めるもののほか、予防接種後の状況が次に該当すると判断されるものは報告すること。

① 死亡したもの、② 臨床症状の重篤なもの、③ 後遺症を残す可能性のあるもの

注2 接種から症状の発生までの時間を特定しない項目（\*）についての考え方

① 後遺症は、急性期に呈した症状に係るものを意味しており、数ヶ月後から数年後に初めて症状が現れたものは、含まないこと。

② その他通常の接種ではみられない異常反応は、予防接種と医学的に関連あるか、又は時間的に密接な関連性があると判断されるものであること。

注3 本基準は予防接種後に一定の症状が現れた者の報告基準であり、予防接種との因果関係や予防接種健康被害救済と直接結びつくものではない。

# 3-5. 薬事法に基づく、副作用報告状況

(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)

(承認時～平成22年3月31日まで)

副作用器官別大分類(SOC)	副作用名	件数
胃腸障害	嘔吐	3
一般・全身障害および投与部位の状態	発熱	10
感染症および寄生虫症	無菌性髄膜炎	1
筋骨格系および結合組織障害	関節痛	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害	喘息	1
神経系障害	意識消失	1
	急性散在性脳脊髄炎	1
	小脳性運動失調	1
	振戦	1
	第7脳神経麻痺	1
	頭痛	1
	熱性痙攣	3
	痙攣	3
免疫系障害	アナフィラキシーショック	1
	アナフィラキシー反応	1
臨床検査	白血球数減少	1
総計		31

安全対策課提供資料

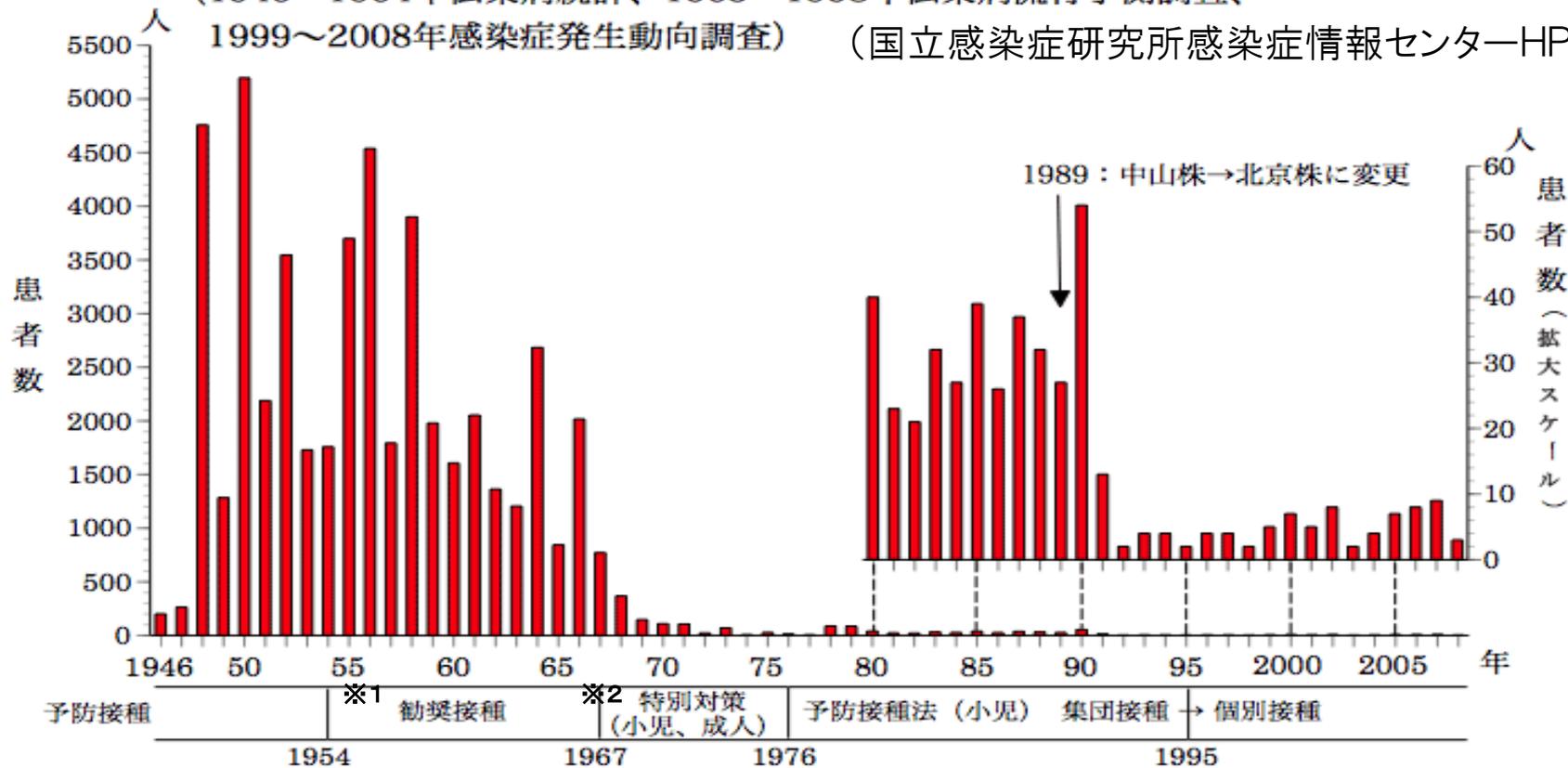
薬事法に基づく副作用の報告は、当該品目の使用によると疑われる疾病、障害又は死亡の発生等の重篤症例について報告するものであり、予防接種実施要領に基づく副反応報告と、基準が異なるもの。

# 参考1)-1 日本脳炎患者数

日本脳炎患者発生状況の推移, 1946~2008年

(1946~1964年伝染病統計、1965~1998年伝染病流行予測調査、

1999~2008年感染症発生動向調査) (国立感染症研究所感染症情報センターHPより)



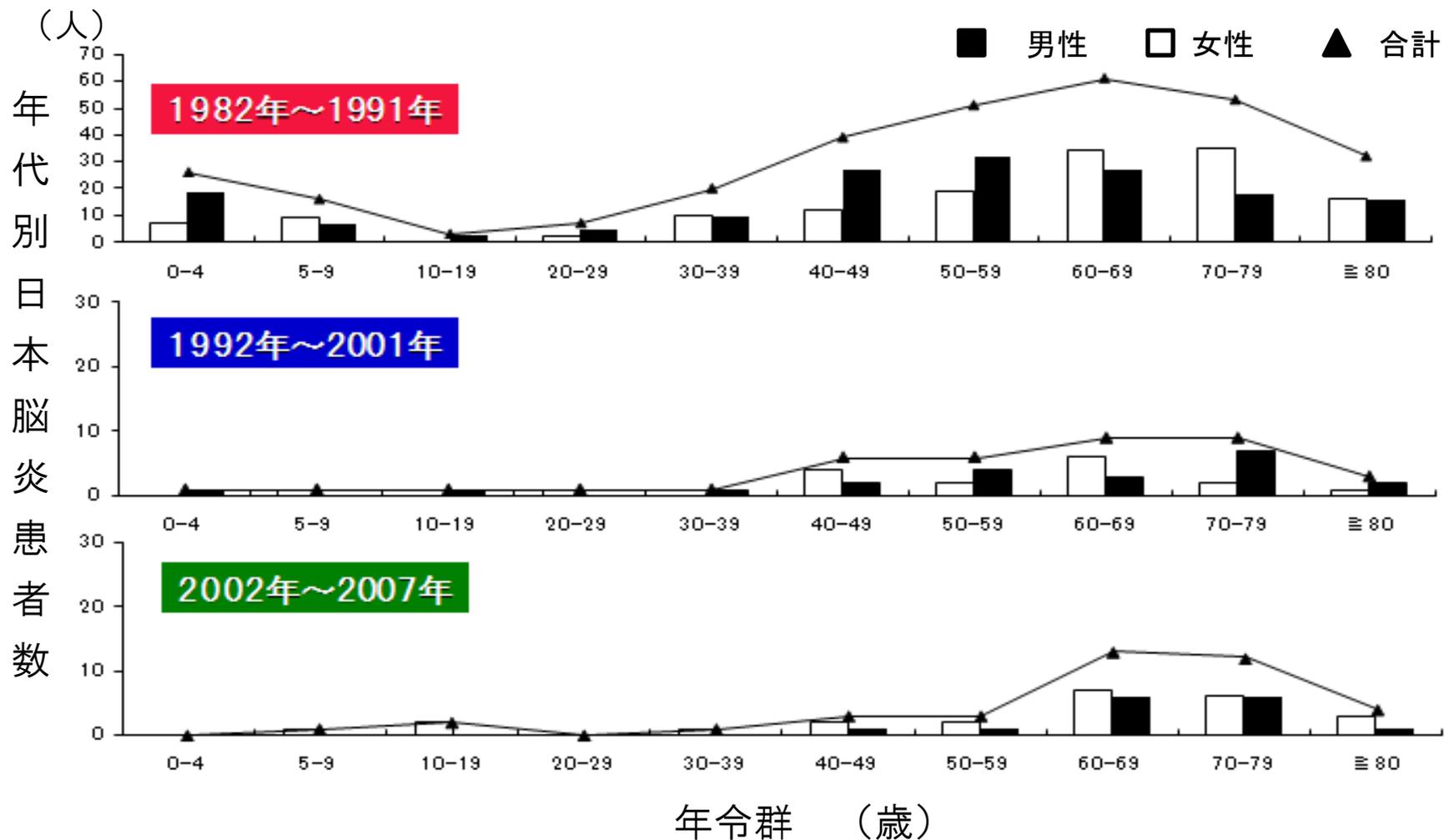
※1 : 昭和29年5月26日付衛発第73号公衆衛生局長通知: 日本脳炎防疫対策要綱について

昭和30年6月16日付衛発372号公衆衛生局長通知: 日本脳炎防疫対策要綱の補遺について

昭和32年7月18日付衛発592号公衆衛生局長通知: 日本脳炎の予防対策について

※2 : 昭和42年5月23日付衛発第360号公衆衛生局長通知: 昭和42年度における日本脳炎等予防特別対策について

# 参考1)-2 日本脳炎患者の年齢別発生状況



平成18年度感染症発生動向調査より  
 国立感染症研究所感染症情報センター  
 多屋室長提供資料

# 参考1)-3 日本脳炎患者数・死亡者数状況 (平成12年～21年)

(単位：人)

年（平成）	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
罹患者数	7	5	8	1	5	7	7	10	3	3
死亡者数	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

罹患者数は「感染症発生動向調査」、死亡者数は「人口動態統計」より

平成12年から21年までの日本脳炎患者報告数は毎年、10人以下だが、一定の傾向はない。死亡者については、平成18年の1例以降、報告されていない。

# 参考1)-4 日本脳炎の年齢別発生状況 (平成12年～21年)

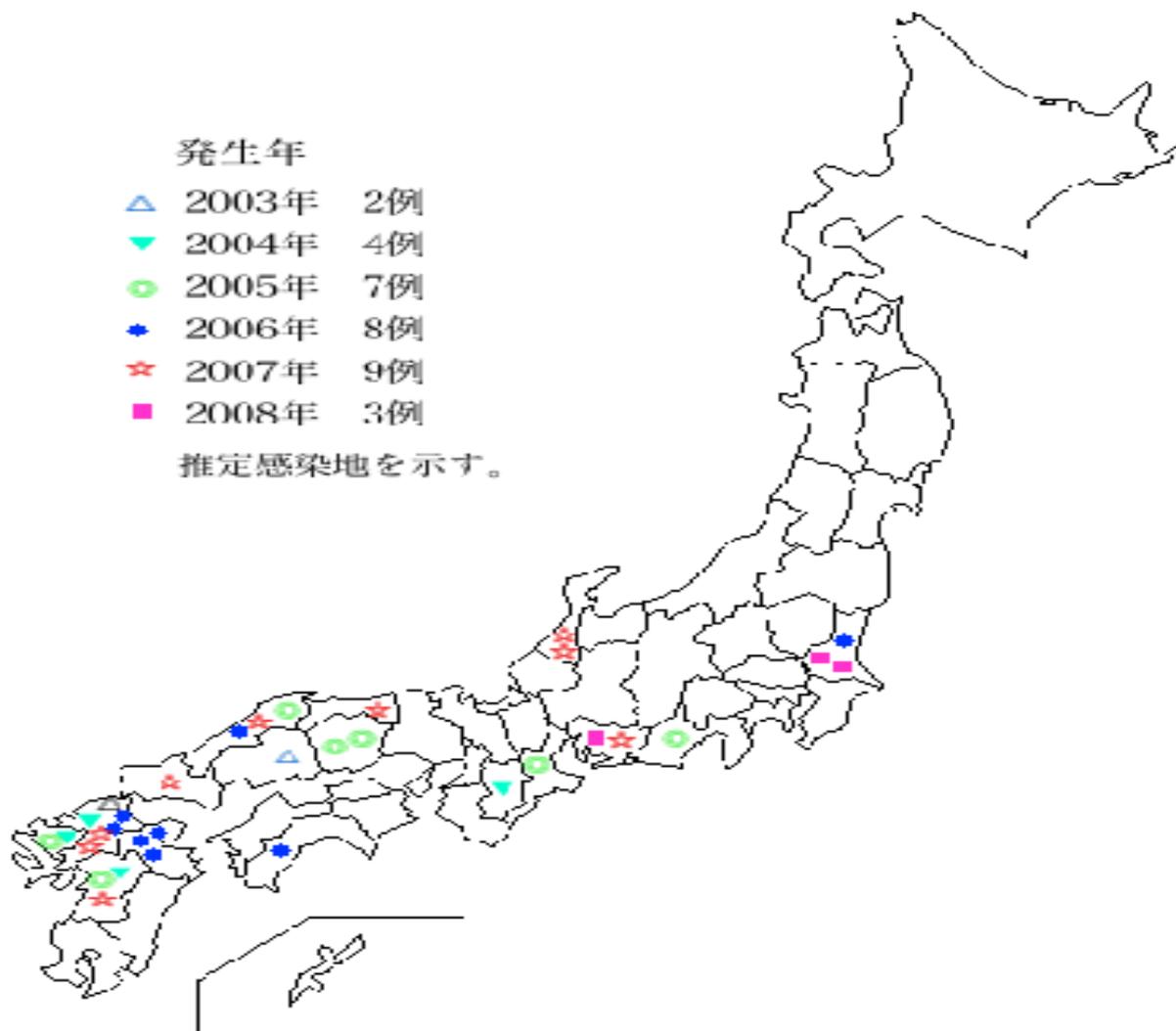
(単位：人)

年齢群 (歳) 平成(年)	0-4	5-9	9-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
12	0	0	0	0	1	1	0	1	2
13	0	0	2	0	0	0	1	1	2
14	0	0	0	0	0	1	2	1	4
15	0	1	0	0	0	0	0	1	0
16	0	0	0	1	0	0	1	0	2
17	0	0	0	0	1	0	1	2	3
18	1	0	1	0	0	2	2	2	0
19	0	0	0	0	0	3	0	3	3
20	0	0	0	0	0	0	2	1	0
21	1	1	0	0	0	1	0	0	0

「感染症発生動向調査」より

平成21年においては、1歳、8歳、40代の計3名に患者が発生した。

# 参考1)-5 都道府県別日本脳炎患者発生状況 (2003年～2008年)



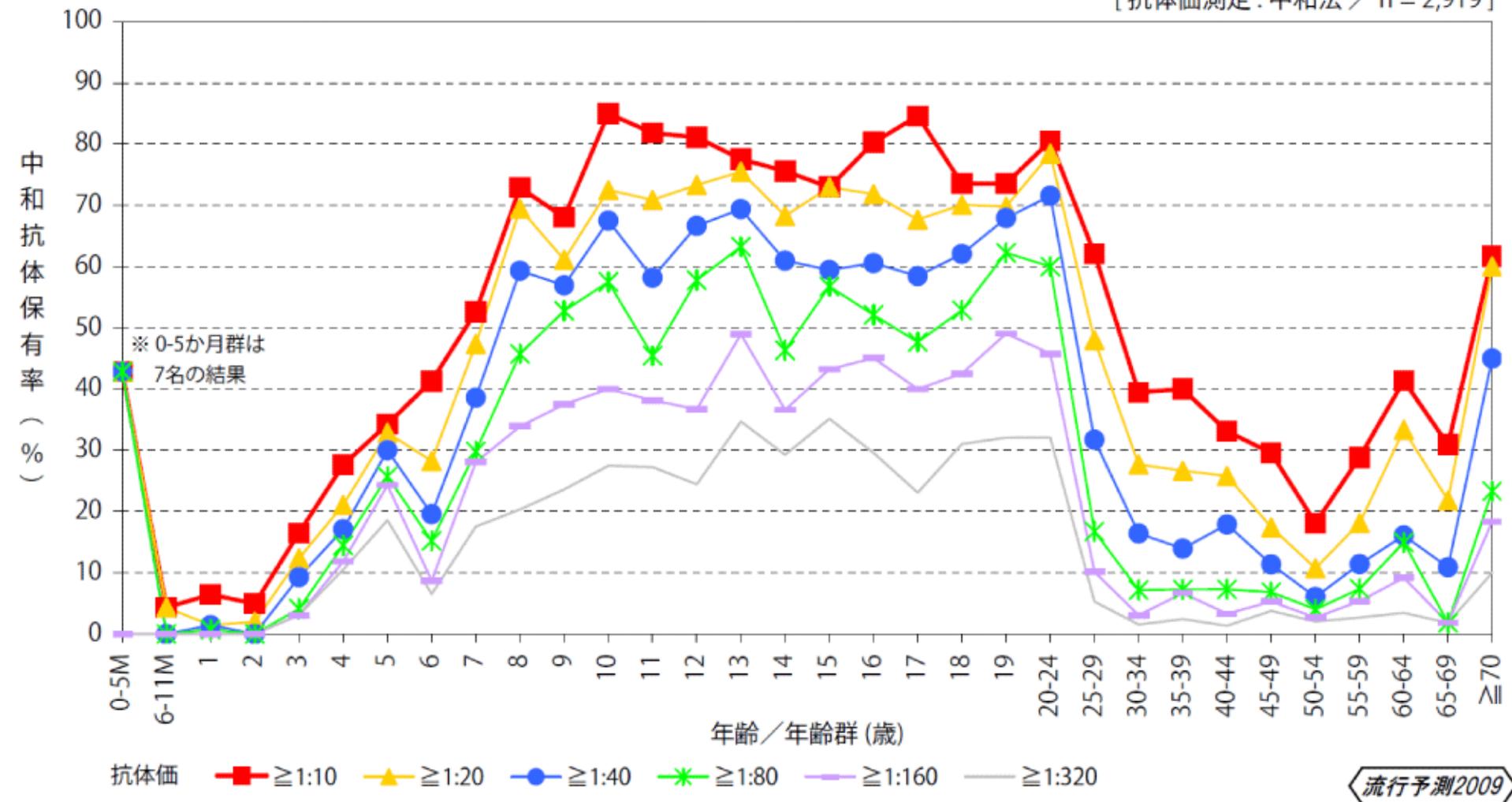
感染症発生動向調査:2009年5月7日現在(国立感染症研究所感染症情報センター)

# 参考2)-1 年齢/年齢群別の日本脳炎中和抗体保有状況

～2009年度感染症流行予測調査(暫定結果)～

(調査担当:東京都、三重県、京都府、大阪府、山口県、愛媛県、熊本県、沖縄県、国立感染症研究所)

[抗体価測定:中和法 / n = 2,919]

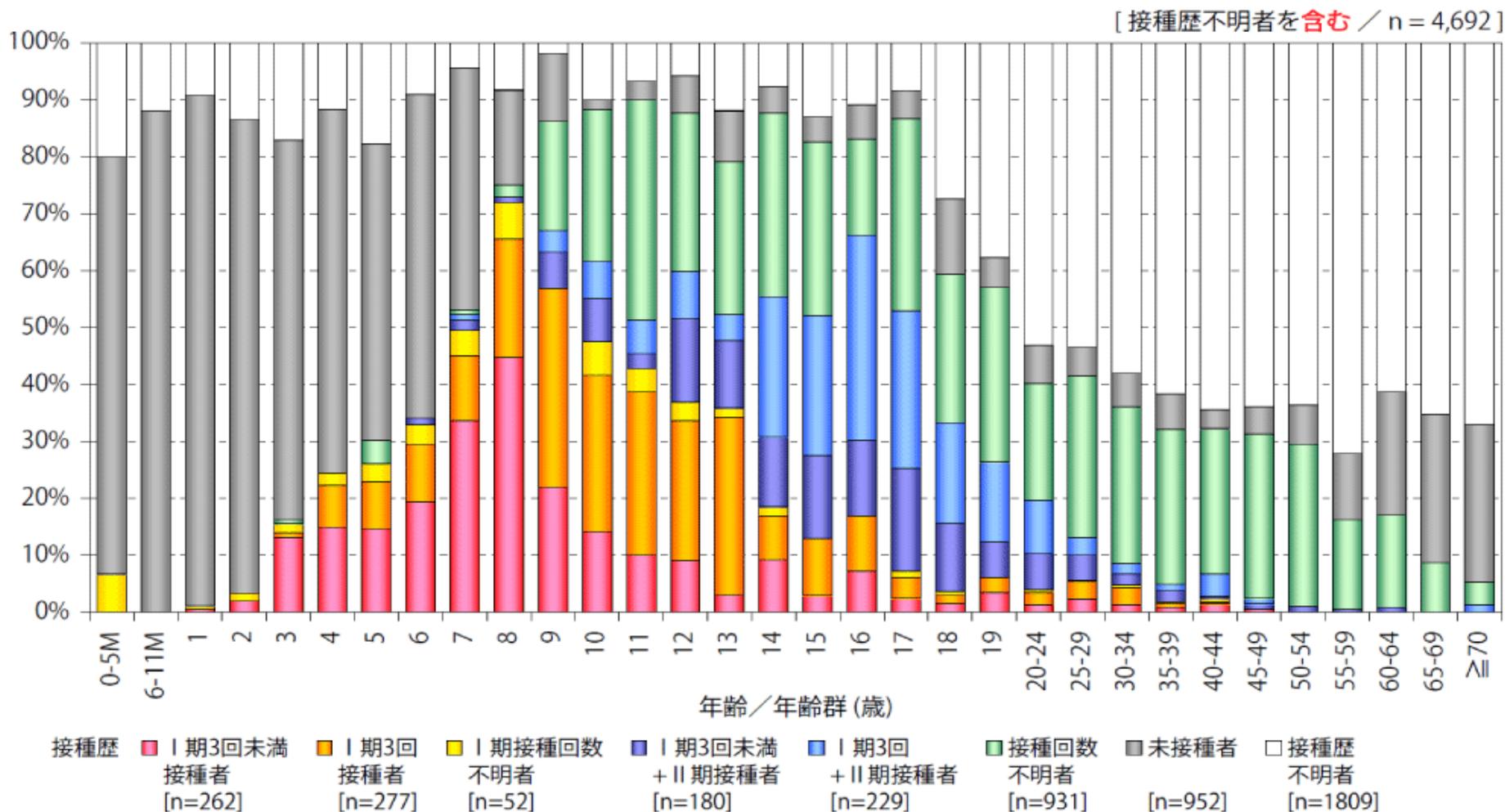


平成21年度感染症流行予測調査より(国立感染症研究所感染症情報センター)

# 参考2)-2 年齢/年齢群別の日本脳炎予防接種率

～2009年度感染症流行予測調査(暫定結果)～

(調査担当:宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、東京都、富山県、長野県、三重県、京都府、大阪府、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県、国立感染症研究所)



※Ⅰ期:基礎免疫(初回2回+追加1回)/Ⅱ期:追加免疫(1回)

流行予測2009

平成21年度感染症流行予測調査より(国立感染症研究所感染症情報センター)

# 参考3) 日本脳炎ウイルスに対するブタの抗体保有状況(2005年~2009年)

